



予防接種と定期接種ワクチンが増えます!!  
「4月から予防接種を受けるには予約が必要です。」

予防接種は感染症から子どもやその周囲の方々の健康を守るためにも有効な予防法です。感染症の原因となるウイルスや細菌又は菌が作り出す毒素の力を弱めてワクチンを作り、それを体に接種してその病気に対する抵抗力(免疫)をつくります。妊娠中の母体やお母さんの母乳から赤ちゃんにも免疫は移行されますが、移行される免疫には期限があり、Hib(ヒブ)と小児肺炎球菌は生後2〜3カ月ごろ、百日せきは3カ月ごろ、麻しん(はしか)では生後12カ月ごろには、ほとんど自然に失われていきます。免疫が失われる前に、そしてそれぞれの感染症にかかりやすくなる年齢になる前に、予防接種をして感染症を予防しましょう。

ワクチンで細菌性髄膜炎を予防

Hibと小児肺炎球菌は「細菌性髄膜炎」の原因菌の80〜90%を占めています。

ます。細菌性髄膜炎は子どもの命に関わる怖い病気です。初期症状は、急な発熱・嘔吐など風邪の症状と似ているため、早期の診断が難しく、罹患した子どもの中には重い障がいが残ったり、亡くなることも少なくありません。毎年日本では約800人以上の子どものたちがかかってしまい、その内半数以上が0歳児です。年齢とともにリスクが減ってくる病気ですが5歳ごろまでは危険年齢と言われ、予防のためには生後2カ月を過ぎたら早い時期に予防接種をすることが効果的です。



Check!! Hib、小児肺炎球菌ワクチンについては定期接種化にともない、「任意の予防接種をした方への費用一部助成」対象ワクチンから除外されています。接種対象者、回数については表を参照してください。

は、個別に文章でお知らせします。再度母子手帳を確認して接種していないワクチンがある場合は、健康カレンダーで実施日を確認し、予約してください。予約先は役場保健福祉課保健推進係又は予防接種会場でも直接予約できます。予約は受けるワクチン接種の前日(月曜日)までをお願いします。

予防接種は体調の良いときに受けるのが原則です。体調の予測ができない1カ月以上先の予約は受付できませんのでご了承ください。

【予防接種のお問い合わせ】  
役場保健福祉課保健推進係  
Tel 2・1・2・1・2

予防接種名	望ましい接種年齢	法律での対象年齢	接種回数
3種混合(ジフテリア)(百日せき)(破傷風)	☆1期初回 生後3〜12カ月 ☆1期追加 1期接種終了後 12〜18カ月	生後3〜90カ月未満	初回3回 追加1回
4種混合(ジフテリア)(百日せき)(破傷風)(不活化ポリオ)	☆1期初回 生後3〜12カ月 ☆1期追加 1期接種終了後 12〜18カ月	生後3〜90カ月未満	初回3回 追加1回
BCG	生後5〜8カ月未満	生後1歳未満	1回
不活化ポリオ	☆1期初回 生後3〜12カ月 ☆1期追加 1期初回終了後 12〜18カ月	生後3〜90カ月未満	初回3回 追加1回
麻しん風しん混合ワクチン	☆1期 生後12〜24カ月未満 ☆2期 5歳以上7歳未満で小学校就学の前日までの間	☆1期 生後12〜24カ月未満 ☆2期 5歳以上7歳未満で小学校就学の前日までの間	1期1回 2期1回
Hib(ヒブ)	☆初回 生後2〜7カ月未満 ☆追加 初回終了後7〜13カ月未満	生後2カ月〜5歳未満	初回3回 追加1回
標準的接種パターン以外 ①接種開始が7〜12カ月未満の場合、初回2回・追加免疫1回 ②接種開始が12カ月〜5歳未満の場合、1回			
小児肺炎球菌	☆初回 生後2〜7カ月未満 ※3回目は12カ月未満まで ☆追加 12〜15カ月の間	生後2カ月〜5歳未満	初回3回 追加1回
標準的接種パターン以外 ①接種開始が7〜12カ月未満の場合は、初回2回。追加免疫は12カ月後に1回 ②接種開始が12カ月〜2歳未満の場合は、2回。60日以上の間隔。 ③接種開始が2歳以上5歳未満の場合は1回。			
子宮頸がん	中学1年生の女子(13歳相当)	13歳となる年度から16歳となる年度末までの間	3回

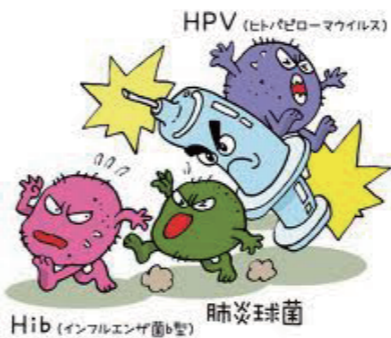
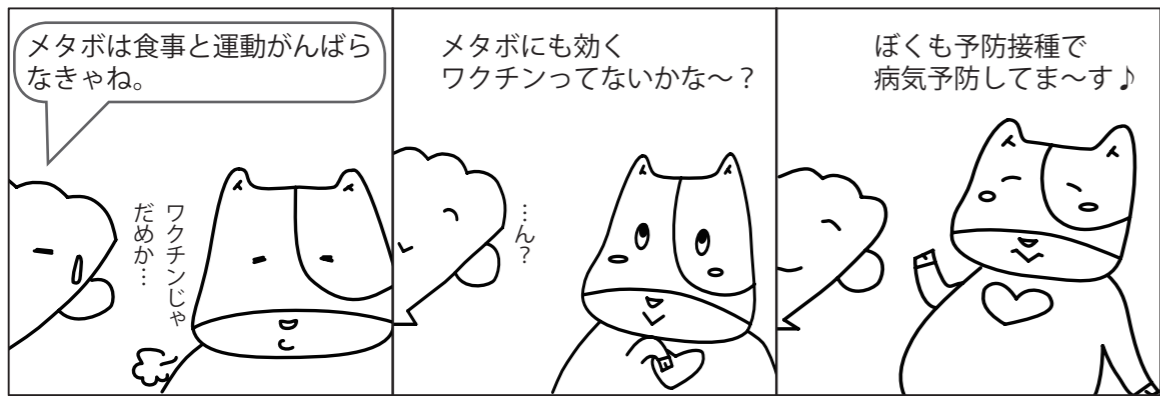
子宮頸がんは早めの予防を

子宮頸がんは、発がん性のHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染が原因でおこる病気です。女性の80%は一生のうち一度は感染すると言われていて、誰にでも起こりうる病気です。HPVに感染しても多くは自然に排除されますが、排除されずに長い期間を経て、がんの発症へとつながります。発がん性HPVには15種類のタイプがあり、予防接種で全てを防ぐことはできませんが、発がん性HPVの中でも約6割を占める16型、18型の感染を防ぐ効果があります。HPV感染は性行為により感染しやすいため、10代前半で予防接種を済ませておくことが効果的です。



Check!! 成人された女性の方でも、任意で接種することができます。定期接種を受

☆定期接種とは…  
予防接種法に基づき、市町村が実施する接種対象者が予防接種を受けるように努めなければならない予防接種。  
☆任意接種とは…  
定期接種以外に、希望によって予防接種を受けることができる予防接種。



ける場合は表を参照してください。  
予防接種を受けるにはどうしたらいいの?

4月から新たに定期接種となるワクチンが増え、予防接種の実施日も増えます。接種する方がより効果的に予防接種がすすめられるよう、4月から定期接種全ても予約制になります。今回新たに定期接種となるHib、小児肺炎球菌、子宮頸がんワクチンの接種対象者に